

シンポジウム 「豊かな食を育む人たち」

大学コンソーシアム石川事業

本シンポジウムの趣旨

本学は、保健・医療・福祉の分野で県民の健康と福祉の向上に貢献できる看護職者の育成という理念の基に、ふるさとづくりと地域の活性化を担う人材の育成または新産業の創出を目指して、「ふるさと学—地域の活性化を担う人づくり—」を来春石川シティーカレッジで開講します。そのため、健康づくりを通じて人と人のつながりの再生に取り組んでいるかほく市を「新しいふるさと」のモデル地域と位置づけ、それに関わる人々の活動やその成果を紹介することによって地域の活性化を考えるきっかけを作りたいと思います。

今回は「食」に関する地域、行政、大学のさまざまな取組を報告していただきます。

石川県立看護大学 浅見 洋



プログラ

14:00 ~

司会進行：浅見 洋（石川県立看護大学教授）

① 挨拶：垣花 渉（石川県立看護大学准教授）

看護大学が挑戦する「ふるさと学」

② 講演：丸山利輔（石川県立大学参与）

「耕稼塾」の目指すところ

—日本の国土を誰が守るか？—

③ シンポジウム：地域の取組紹介

行政 山名田浩文（かほく市産業建設部農林水産課係長）

かほく市における農業の取組み

地域団体 岡山伸太郎（JA 石川かほく経済部次長）

地産地消と食農教育の実践

学校 網秀子（かほく市立高松小学校栄養教諭）

学校給食と地産地消

大学 看護大学生

地域の特産品と食育フェスタ

④ 情報交換会（16:00 ~）



シンポジウム終了後には看護大学生による手作りの
「かほっくりのポタージュ&コロケ」の試食会があります。